

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第7回情報ネットワーク科学研究会 (NetSci)

委員長 会田雅樹 (首都大東京)

副委員長 中村 元 (KDDI)・成瀬 誠 (NICT)・巳波弘佳 (関西学院大)

日時 平成26年5月16日(金) 13:00~18:00

会場 首都大学東京秋葉原キャンパス会議室 DE (秋葉原ダイビル12階)

参加費 1,000円

プログラム

1. 脳機能ネットワークに着想を得たロバスト性を有する仮想センサーネットワーク構築手法  
豊永慎也・小南大智・村田正幸 (阪大)
2. 無線ネットワークにおけるエンド間遅延の分散特性を考慮したアトラクタ摂動モデルの改良と評価  
小川賢人・寺前順之介・若宮直紀 (阪大)
3. 動的ネットワークのダイナミクスに関する一考察 本多泰理 (NTT)
4. ネットワークに潜む離散性 小笠原義仁・大石進一 (早大)
5. [招待講演] SSL/TLS サーバ認証におけるRSA公開鍵の安全性について 盛合志帆 (NICT)
6. [招待講演] 情報理論の暗号技術について:理論と応用 四方順司 (横浜国大)
7. [招待講演] ネットワークセキュリティと“不”自然科学 森 達哉 (早大)

◎最新情報や今後の研究会の予定等は情報ネットワーク科学時限研究専門委員会の Web サイト <http://www.ieice.org/~netsci/> を御参照下さい。

【問合先】

井上 武 (NTT)・久保 健 (KDDI)・村山立人 (富山大)・作元雄輔 (首都大東京)

E-mail: [netsci-admin@mail.ieice.org](mailto:netsci-admin@mail.ieice.org)

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

●第10回複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) 研究会

委員長 長谷川幹雄 (東京理科大)

情報通信技術は、私たちの生活や社会を支える最重要技術として目覚ましい発展を遂げてきました。それにつれて、大規模化かつ複雑化する情報通信技術の研究開発を支える学術的基盤の適応限界が広い範囲で意識されはじめ、これらの限界を超えた新たな基盤構築の必要性が世界的に認識されるようになっていきます。

このような現状を踏まえ、本時限研究専門委員会は、情報通信技術のすべての階層、それを取り巻く情報通信環境、そして神経系や生物システム、更には人間のソーシャルコミュニケーションをも含めた広範な研究対象を扱い、そこにある現実的問題の本質、限界、そしてそれらの背後に横たわる普遍的特質を明らかにするサイエンスの創出を目指しております。

2014年度の第1回目となる本研究会では、昨年度の関西支部研究会に引き続き、既存の分野を越えた相互作用を継続的に行っていく場を提供すべく、「相互作用 (インタラクション) と情報伝達 (コミュニケーション)」をキーワードとし、次世代技術の研究開発とその具体化・実施を目指す「エンジニアリング」(情報通信システム)と、より複雑化、極限化していく技術の本質、限界、普遍的特質の解明を目指す「サイエンス」(数理物理、生体生物、社会経済)の交流を通して、ユニークな議論を行いたいと考えております。是非、御参加下さい。

日時 平成26年5月19日(月)、20日(火)

会場 大阪大学吹田キャンパス理工学図書館 (<https://www.library.osaka-u.ac.jp/rikou/reserve.php>)

テーマ: 相互作用 (インタラクション) と情報伝達 (コミュニケーション) 及び一般

招待講演

階層的に相互作用する自己組織型ネットワーク制御 若宮直紀 (阪大)

ゆらぎと共存協調する半導体電子デバイス技術 葛西誠也 (北大)

3次元アメーバ様細胞モデルの構築 西村信一郎 (九大)

参加申込締切 5月11日(日)

参加費 一般 3,000円 (予定, USB講演資料代含む), 学生 無料 (USB講演資料不要の場合)

【参加申込方法】

氏名, 所属, 連絡先をメールにて下記参加申込・問合先まで御連絡下さい。

## 【参加申込・問合せ先】

坪 泰宏（立命館大）

E-mail : tsubo@ci.ritsumei.ac.jp

## 【世話人・現地世話人】

高橋 亮（京大） E-mail : ryo@dove.kuee.kyoto-u.ac.jp

若宮直紀（阪大） E-mail : wakamiya@ist.osaka-u.ac.jp

寺前順之介（阪大） E-mail : teramae@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は、当研究会のホームページを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/ess/ccs/>

主催 複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

## ●第4回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 新津善弘（芝浦工大）

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成26年6月5日（木）、6日（金）

会場 とかちプラザ（帯広市）

テーマ：ソフトウェア開発管理技術＋一般

### 概要

サーバやその上で動作するアプリケーションの仮想化技術が進展することにより、様々なサービスをクラウド環境で使用できるようになってきました。更に昨今ではネットワーク機能までも仮想化しようとする動き（例えばNFV: Network Functions Virtualization）が出てきています。このような環境では、これまでの単一装置のソフトウェア技術とは異なる新しいネットワークソフトウェア技術が必要となってきています。

一方で、ソフトウェアの多くの開発現場では、めまぐるしい変化に対応するために、開発サイクルの短期化と、同時に開発コストの削減、品質の維持が要求されています。これらの要求に応えるためには、ソフトウェアの開発手法の技術革新とともに、効率的に開発を進めていく開発管理技術も重要となってきます。

本研究会では、このような状況の中、ネットワークソフトウェアに関し、現状の開発・管理の課題を踏まえた上で、新たな革新的なソフトウェア開発手法及び開発管理技術について議論致します。

例えば、

- ・変革を続けるネットワークを支える新規ネットワークソフトウェア技術やアーキテクチャの提案
- ・ネットワークソフトウェア開発手法、開発技術の現状分析と革新に関する提案
- ・開発効率を向上させるためのソフトウェア開発管理技術に関する提案
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件当たり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件当たり約5～10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

各種締切

一般講演申込み：5月7日（水）

一般講演原稿提出：5月14日（水）

ポジションペーパー申込み：5月14日（水）

研究会参加申込み：5月14日（水）

参加費振り込み：5月23日（金）

#### 【一般講演の申込と原稿提出】

##### ・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、講演者の方の参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込みもされたものとみなしますので、下記参加申込みに関する注意事項も合わせて御確認下さい。

##### ・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当り1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当り2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

#### 【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。

※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

#### 【参加申込】

氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailアドレスを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

#### 【参加費（予定）と参加費支払方法】

一般 7,000円 学生 3,000円

参加費を期日までに下記口座へお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先口座

銀行名：みずほ銀行 支店名：三鷹支店

口座名：ネットワークソフトウェア研究会

口座番号：普通 4298770

#### 【予稿集の事前配布】

講演内容の理解促進及び質疑応答の更なる充実を目的に、希望する参加者の方へ予稿集を事前配布（郵送）します。事前配布を希望される方は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。なお、期日までに参加費を振り込むことが事前配布の条件となりますので、御了承下さい。

#### 【講演・参加申込先・原稿提出先】

北野雄大（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL〔0422〕59-3890, E-mail：ns-nws-kanji@mail.ieice.org

#### 【研究会全般に関する問合せ先】

奥谷武則（NTT）

TEL〔0422〕59-3805

主催 ネットワークシステム研究専門委員会 ネットワークソフトウェア研究会運営委員会

<http://www.ieice.org/~nws/>

### ●第4回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 粕川秋彦（古河電工） 副委員長 横井秀樹（芝浦工大）

日時 平成26年6月27日（金） 13：30-17：35（受付13：10）

会場 NTTフォトリソ研究所1号館1階プレゼンテーションルーム（厚木市森の里宮富3-1. 小田急電鉄：愛甲石田駅よりバス20分「通信研究所前」下車。 <http://www.phlab.ecl.ntt.co.jp/location/index.html>）

テーマ：光デバイス用プロセス技術・実装技術の進展

第4回研究会を下記の内容で開催します。光デバイスは、より高集積、高性能と多機能化を目指して研究開発が盛んに進められています。その中で、それらの高度な光デバイスを実現するのに不可欠な作製技術の重要性がより一層高まってきており、多方面で研究開発が行われています。具体的には、薄膜低拡散の結晶成長技術、導波路等の微細で高均一加工技術、同種／異種導波路の高効率な接続技術・集積技術や光子／光部品の高密度で低コストな実装技術などです。

第4回集積光デバイスと応用技術研究会では、上記のような、光デバイスの作製、製造技術に関連する講演を行います。多数の方々の御参加をお待ちしております。

プログラム（\*変更になる可能性がある場合がございます）

〔招待講演〕 光デバイス用結晶成長技術

河原弘幸・柳楽 崇・山口晴央・西田武弘・小野健一・竹見政義（三菱電機）

〔招待講演〕 InP 光集積プロセス技術 米田昌博（住友電工）

〔招待講演〕 シリコン基板上 InGaAs マイクロディスクのヘテロエピタキシャル成長とデバイス応用の検討

杉山正和（東大）

〔招待講演〕 石英系 PLC と半導体のヘテロジェニアス集積技術 倉田優生（NTT）

〔招待講演〕 光インタコネク用光モジュール実装技術 八木澤孝俊・白石 崇・菅原茉莉子・田中一弘（富士通研）

〔招待講演〕 光集積デバイス用パッシブ実装技術 栗原 充（NEC）

フリーディスカッション（17：40～）

参加資格：特に問いません。

参加申込：研究会開催当日、会場にて受付けます（事前申し込み不要）。

参加費：一般参加者 5,000 円，学生 1,000 円

【講演に関する問合せ先】 第4回研究会担当委員

石村栄太郎（三菱電機）

TEL〔072〕784-7394, E-mail: Ishimura.Eitaro@da.MitsubishiElectric.co.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ先】 幹事

向原智一（古河電工）

TEL〔0436〕42-1771, E-mail: tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一（京都工繊大）

TEL〔075〕724-7423, E-mail: yamasita@kit.ac.jp

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会